

地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	福井県鯖江市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	「伝統芸能のまちさばえ」創出事業(文楽・狂言)	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>地域の歴史や産業にゆかりがある文楽・狂言を広く普及・啓発することにより地域活性化をめざす。浄瑠璃作者、近松門左衛門は、県内近松研究第一人者による「近松鯖江生誕説」の発表により、鯖江で生まれ育った可能性が高くなった。これは、ブランド力が高いものである。新しい感覚で親しめる文楽公演により、「近松が生まれ育ったまちさばえ」と文楽の魅力を全国発信する。また、文化庁の旅百選で大賞を受けた「ジャパンを訪ねる旅」の越前漆器の産地が狂言演目『塗師』の舞台になっている。狂言を活かして「越前漆器・うるしの里」を発信することにより、効果的な漆器産業の振興につなげる。地域の歴史・産業に密着した「伝統芸能のまちさばえ」を創出するために、下記の取組みを実施する。</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等は以下の担当課が行う。 教育委員会文化課：各補助事業における文化財等の取扱等に関する指導・調整等 鯖江市立待公民館、鯖江市うるしの里会館：各補助事業における会場の提供 また、補助事業は次の団体が実施する。 近松の里づくり事業推進会議(文楽、会長：河野治和) 特定非営利活動法人かわだ夢グリーン(狂言、理事長：青山英彦)</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 22,997 千円	平成31年度申請額： 2,046 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>市民の地域にゆかりが深い伝統芸能に対する関心や意識、地域への愛着信が向上し、今後、住民が地域の歴史や産業と一体となった伝統芸能の保存と地域活性化が期待できる。特に、伝統芸能に対する関心が低い若い世代に文楽や狂言の魅力を伝え、伝統芸能ファン層の底辺拡大につながる。文楽事業では、「近松が生まれ育ったまちさばえ」のブランド力の全国発信、狂言事業では、伝統産業越前漆器の情報発信につながり、うるしの里への観光客の増加や漆器産業の振興が見込める。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	補助事業で実施する音楽舞台「新近松ものがたり」を「The門左衛門2Days」の中に組み込んで、2日間で集中的に「近松が生まれ育ったまちさばえ」を全国発信する。		
事業概要：	鯖江人形浄瑠璃「近松座」による出前文楽公演の実施		
事業概要：	「古典の日」制定記念イベントの実施		
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>当課では、平成29年度で、「今北山・磯部・弁財天古墳群」の発掘調査が終了し、現在は国指定の申請に向けて鯖江市においては事務作業中である。また、史跡「兜山古墳」も平成31年度から整備工事が開始される。これら事業の目途がついた段階で、「歴史文化基本構想」の策定を検討する。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	鯖江市教育委員会文化課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分1:	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標1:	近松の里たちまちスタンプラリー「パワースポット+恋話めぐり」(自主事業参加者)			関連事業:	①	
目標値1:	【現状値】平成28年度150人 ⇒ 【目標値】平成33年度240人					
設定根拠1:	平成28年度から毎年、10%の増加を設定					
進捗状況1:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
170人	人	人	人	人	人	
22%						
目標区分2:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分2:	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標2:	うるしの里会館の来場者数			関連事業:	②	
目標値2:	【現状値】平成28年度105,000人 ⇒ 【目標値】平成33年度109,000人					
設定根拠2:	平成27年度までの5年間の平均伸び率1%に対し、2倍の2%を設定					
進捗状況2:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
105,500人	人	人	人	人	人	
13%						
目標区分3:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分3:	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標3:	「たちまち子ども文楽」の部員数			関連事業:	①	
目標値3:	【現状値】平成28年度12人 ⇒ 【目標値】平成33年度17人					
設定根拠3:	毎年1名ずつ増加させていく。					
進捗状況3:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
12人	人	人	人	人	人	
0%						
目標区分4:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分4:	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標4:	鯖江市まなべの館の入館者数			関連事業:	②	
目標値4:	【現状値】平成26年度26,900人 ⇒ 【目標値】平成33年度34,000人					
設定根拠4:	「近松の部屋」の常設展示の充実、「古典の日」制定記念イベント等の実施により、毎年1000人ずつの増加を設定。					
進捗状況4:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
35,000人	人	人	人	人	人	
114%						

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①:	新しい感覚で楽しめる文楽啓発と「近松のまちさばえ」全国発信イベントの開催					実施団体:	近松の里づくり事業推進会議				
事業区分:	普及啓発					事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要:	「文楽や近松作品は敷居が高い」という先入観を払拭できる、様々なジャンルのものと文楽人形がコラボレーションした、新しい感覚で文楽の魅力に触れて、「近松が生まれ育ったまちさばえ」を全国発信できる公演を上演する。										
評価指標区分:	・保存会への新規入会者数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標:	鯖江人形浄瑠璃「近松座」への新規入会者数										
目標値:	【現状値】 平成 29 年度 1 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 5 人										
進捗状況:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
0 人	人	人	人	人	人						
-25%											
事業②:	狂言「塗師」うるしの里活性化事業					実施団体:	特定非営利活動法人かわだ夢グリーン				
事業区分:	普及啓発					事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要:	市指定無形民俗文化財「おこない」が行われる1月に、狂言『塗師』を見せながら、伝統工芸士に蒔絵の指導していただき、マイ漆器を滞在して作るツアーを実施する。										
評価指標区分:	・保存会への新規入会者数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標:	かわだ夢グリーン狂言倶楽部への新規入会者数										
目標値:	【現状値】 平成 29 年度 1 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 5 人										
進捗状況:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
2 人	人	人	人	人	人						
25%											